

秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科
博士後期課程

学生募集要項

令和3年4月入学者選抜（令和2年8月実施試験・令和3年3月実施試験）

令和2年10月入学者選抜（令和2年8月実施試験）

令和2年6月



秋田県立大学大学院生物資源科学研究科 博士後期課程

◎ 入学定員・募集人員
(令和3年4月入学者選抜)

入学定員及び 募集人員 専攻名	入学 定員	令和2年8月実施試験	令和3年3月実施試験
		一般選抜 推薦特別選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
生物資源科学専攻	5	5名程度	若干名

(令和2年10月入学者選抜)

募集人員 専攻名	令和2年8月実施試験
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
生物資源科学専攻	若干名

◎ 入学試験関係日程
(令和3年4月入学者選抜)

【令和2年8月実施試験】

入学資格審査申請期間	令和2年6月22日(月)～6月26日(金)	受付時間：午前9時～午後5時
出願期間	令和2年7月27日(月)～7月31日(金)	
試験期日	令和2年8月21日(金)	
合格者発表	令和2年8月27日(木)午後1時予定	
入学手続	令和2年9月8日(火)及び9月9日(水) 受付時間：午前9時～午後5時	

【令和3年3月実施試験】

入学資格審査申請期間	令和2年11月30日(月)～12月4日(金)	受付時間：午前9時～午後5時
出願期間	令和3年2月1日(月)～2月5日(金)	
試験期日	令和3年3月1日(月)	
合格者発表	令和3年3月6日(土)午後1時予定	
入学手続	令和3年3月14日(日)及び3月15日(月) 受付時間：午前9時～午後5時	

※社会人特別選抜試験志願者のうち、特別早期修了制度の適用を希望する方は、入学資格審査申請期間内に、別途制度適用に係わる申請を行う必要があります。詳しくは9ページを確認してください。

(令和2年10月入学者選抜)

【令和2年8月実施試験】

入学資格審査申請期間	令和2年6月22日(月)～6月26日(金)	受付時間：午前9時～午後5時
出願期間	令和2年7月27日(月)～7月31日(金)	
試験期日	令和2年8月21日(金)	
合格者発表	令和2年8月27日(木)午後1時予定	
入学手続	令和2年9月8日(火)及び9月9日(水) 受付時間：午前9時～午後5時	

目 次

※ 令和3年4月入学者選抜（令和2年8月実施、令和3年3月実施）試験を志願する方はⅡを、令和2年10月入学者選抜（令和2年8月実施）試験を志願する方はⅢをご覧ください。

I 生物資源科学研究科について

(1) アドミッション・ポリシー	1
(2) カリキュラム・ポリシー	1
(3) ディプロマ・ポリシー	1

II 令和3年4月入学者選抜

（一般選抜、推薦特別選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜）

1 募集する専攻及び募集人員	2
2 出願資格	2
3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	3
4 出願期間及び出願方法等	3
5 選抜方法等	7
6 合格者発表	8
7 入学手続、初年度納付金等	8

III 令和2年10月入学者選抜

（一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜）

1 募集する専攻及び募集人員	11
2 出願資格	11
3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	12
4 出願期間及び出願方法等	12
5 選抜方法等	16
6 合格者発表	17
7 入学手続、初年度納付金等	17

IV 共通事項

1 入学試験成績の開示	20
2 個人情報の取扱いについて	20

【キャンパス案内図】21

◎生物資源科学研究科の案内 23

新型コロナウイルスの影響で、試験日程や試験方法が変更となる可能性があります。
変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

1 生物資源科学研究科について

(1) アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

博士後期課程

広い視野と独創性や創造力をもって問題解決に挑む高度技術研究者を目指す人材を受け入れます。

上記に加え、次のような資質を持つ人を求めています。

生物資源科学専攻

生物資源科学に関して、前期課程での研究実績に見合った専門知識と問題発見・解決に向かう思索力、問題解決を推進できる意欲と創造力を有し、それらを大学・研究機関・ベンチャービジネス等で発揮することを目指す人

(2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

博士後期課程

前期課程で培った専門知識の深化と問題発見・解決力を高めるため、研究指導と公表論文の指導に注力して研究力を身に付けさせます。また、研究力を実践に活かすために必要な幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力等を養う教育プログラムを展開します。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講します。

生物資源科学専攻

- ①広範な専門知識および高度な問題発見・解決能力を活かして、独創的な研究を発展させていく研究力をつけるため、以下の教育体制と教育プログラムを設けます。
- ②研究推進と公表論文作成に不可欠な討論の機会を増やすため、主指導・副指導教員を必ず設けます。修了要件として、課程中盤での公開中間発表と査読付学術誌への2報以上の論文発表（うち少なくとも1報は主著者）を義務付けます。英語での学術発表を指導する英語プレゼンテーション科目を設けます。
- ③幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力の涵養を図るため、学生の企画・運営による特別セミナーの開催を支援し、課程期間中の学外短期研究研修制度を設けます。

(3) ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

博士後期課程

高度技術研究者として、前期課程の基礎に立って研究開発能力を高め、複数の分野を俯瞰して広い視野で物事を分析し、問題の提起と解決を行う能力を身に付け、修了に必要な単位を修得した学生に学位を授与します。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりです。

生物資源科学専攻

生物資源科学に関する広範な専門知識および高度な問題発見・解決能力を活かして生物資源科学の課題に対し、先端的なアプローチ方法や解決方法を開拓して、独創的な研究を発展させていく能力

Ⅱ 令和3年4月入学者選抜

一 般 選 抜
推 薦 特 別 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜

※推薦特別選抜は令和2年8月実施試験のみで実施

1 募集する専攻及び募集人員

専攻名	入学定員及び募集人員	令和2年8月実施試験	令和3年3月実施試験
		一般選抜 推薦特別選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
生物資源科学専攻	5	5名程度	若干名

2 出願資格

(1) 出願資格

【一般選抜】

以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

【推薦特別選抜】※令和2年8月実施試験のみで実施

学業及び人物共に優れ、本大学院の志望指導教員または所属大学の指導教員が責任をもって推薦でき、かつ合格した場合には入学を確約できる者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

【社会人特別選抜】

2年以上の社会的経験を有する者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。なお、この選抜区分については、次の期間に志望指導教員まで問い合わせてください。
(受付時間：午前9時～午後5時)

令和2年8月実施試験	令和2年6月22日(月)～6月26日(金)
令和3年3月実施試験	令和2年11月30日(月)～12月4日(金)

【外国人・帰国子女特別選抜】

外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 修士の学位または専門職学位を有する者及び令和3年3月までに取得見込みの者
- ② 外国の大学の大学院において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和3年3月までに取得見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和3年3月までに取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和3年3月までに取得見込みの者
- ⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- ⑥ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- ⑦ その他の修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、令和3年4月1日までに24歳に達する者

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑤～⑦のいずれかにより出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記ii)の各書類を後記「出願先」まで提出してください。(郵送の場合は、入学資格審査申請期間最終日の午後5時必着とします。持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。)

注意) 封筒には「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

i) 入学資格審査申請期間

令和2年8月実施試験	令和2年6月22日(月)～6月26日(金)
令和3年3月実施試験	令和2年11月30日(月)～12月4日(金)

ii) 入学資格審査に必要な書類

書類名	摘要
入学資格審査申請書	様式は本学のホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。
履歴書	様式は任意です。
研究業績書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。
返送用封筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、84円切手を貼付してください。

- ② 入学資格審査の結果は、次の期日までに本人あてに通知します。

令和2年8月実施試験	令和2年7月20日(月)
令和3年3月実施試験	令和3年1月25日(月)

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本大学院に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、以下の期限までに後記「出願先」へ事前相談を行うようにしてください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。

期限後に不慮の事故等により、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

令和2年8月実施試験	令和2年6月26日(金)
令和3年3月実施試験	令和2年12月4日(金)

4 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間

令和2年8月実施試験	令和2年7月27日(月)～7月31日(金)
令和3年3月実施試験	令和3年2月1日(月)～2月5日(金)

(2) 出願方法

- ① 本入試はインターネット出願となります。大学ホームページからインターネット出願ページに進み、出願手続を行ってください。

- ② 本入試は一部郵送もしくは持参による提出が必要な書類があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時 必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。
- ③ 指導教員等が変更になる場合がありますので、出願前に必ず志望指導教員と連絡をとるようにしてください。なお、外国人・帰国子女特別選抜の出願者の連絡記録は、提出書類の一つとなります。

(3) 入学検定料

30,000円 ただし、本学院生物資源科学研究科の前期課程を修了し、当該研究科の後期課程に入学を志願する場合は、入学検定料は免除となります。

(4) 出 願 先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438
 秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)
 TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

(5) 提出の必要がある書類

各選抜区分欄に、○印を付した書類を原則としてすべて提出してください。△印を付した書類は該当者のみ提出してください。「-」を付した書類は提出不要です。

番号	書類名	摘 要	選抜区分			
			一 般 選 抜	推 薦 特 別 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して送付してください。	○	○	○	○
2	検定料振込証明書	インターネット出願ページから振込用紙を印刷し、金融機関で納付した際に受領する検定料振込証明書を入学志願票に貼付してください。	○	○	○	○
3	志望理由書	800字程度で志望理由を記入してください。	○	○	○	○
4	業績レポート	一般選抜、推薦特別選抜または外国人・帰国子女特別選抜に出願する者で出願資格⑤～⑦のいずれかに該当する者、または社会人特別選抜に出願する者は本大学院所定の用紙に業績を記入してください。	△	△	○	△
5	推薦書	推薦特別選抜に出願する者は本大学院の志望指導教員または所属大学の指導教員が、社会人特別選抜または外国人・帰国子女特別選抜に出願する者は出身(在籍)機関等の教員、所属長、本大学院の志望指導教員等が作成のうえ厳封したものを提出してください。	-	○	○	○

番号	書類名	摘要	選抜区分			
			一般選抜	推薦特別選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜
6	研究計画書	研究計画を記入してください。	—	—	○	—
7	修了（見込）証明書または学位授与（申請受理）証明書	① 出身大学院、または大学評価・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ② 大学評価・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。	○	○	○	○
8	大学院の成績証明書	出身大学院の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。出願資格⑦に該当する場合は出身大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。	○	○	○	○
9	修士論文またはこれまでの研究の要旨	修士論文の要旨または研究の要旨（2,000字程度）を提出してください。	○	○	○	○
10	住民票の写しまたはパスポートの写し	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し（出願前3か月以内に発行したもの）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。	△	△	△	△
11	受験承諾書	企業等に在籍のまま本大学院に入学を希望する者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします）。	△	△	△	△
12	志望指導教員との連絡記録	志望指導教員と連絡をとった際の連絡記録（手紙、Eメール等の写し）を提出してください。	—	—	—	○
13	安全保障輸出管理に関する誓約書	外国籍の方、または、日本国籍を有するが非居住者に該当する方は、本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入・押印、またはサインをし、提出してください。 URL： https://www.akita-pu.ac.jp/nyushi/joho/joho-daigakuin/	△	△	△	△
14	その他本学が指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。	△	△	△	△

【注】各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願先」までお問い合わせください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、23ページ以降の「秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内」を参照の上、必ず志望指導教員に問い合わせてください。問い合わせの際は、前記「出願先」に連絡してください。
- ② 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願書類は、インターネット出願ページの注意事項を参照してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願書類受理後にインターネット出願ページからダウンロードできるようになりますので、印刷してください。
- ⑥ 外国から本大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要な書類の発給に時間を要する場合がありますので、発給元に所要時間、必要書類を確認するなど受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑦ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑧ 一度受理した出願書類は返還しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	30,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	30,000円
(ウ) 入学検定料が免除となる者が、誤って振り込んだ場合	30,000円

※実際の返還額は、振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、払込済みの検定料振込証明書を同封して次の送付先へ請求してください。

送 付 先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和3年2月26日（金）必着

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

(1) 試験期日

令和2年8月実施試験	令和2年8月21日（金）
令和3年3月実施試験	令和3年3月1日（月）

(2) 選抜方法

選抜区分毎の選抜方法は次のとおりです。

※令和2年8月実施試験・令和3年3月実施試験ともに、面接の中で研究業績に関するプレゼンテーション（20分程度）を課します。

〔令和2年8月実施試験・令和3年3月実施試験〕

選抜区分	選抜方法
一般選抜	書類審査、面接を総合して判定します。
推薦特別選抜	
社会人特別選抜	
外国人・帰国子女特別選抜	

※推薦特別選抜は令和2年8月実施試験のみ

(3) 試験時間割

〔令和2年8月実施試験〕

選抜区分	時間
一般選抜	面接 午前10時～
推薦特別選抜	
社会人特別選抜	
外国人・帰国子女特別選抜	

〔令和3年3月実施試験〕

選抜区分	時間
一般選抜	面接 午前9時～
社会人特別選抜	
外国人・帰国子女特別選抜	

(4) 試験会場

秋田県立大学秋田キャンパス（21ページ参照）

(5) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、試験開始30分前までに指定された試験室または面接控室に入室してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。また、これらは時計として使用できません。

- ⑥ 本学と大学・学部間交流協定を結んでいる大学から推薦を受けて外国人・帰国子女特別選抜の区分で受験する者について、本学が必要と認める場合には、試験期日及び試験会場を変更する場合があります。
- ⑦ その他必要な事項が生じた場合には、別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表期日

令和2年8月実施試験	令和2年8月27日（木）	午後1時予定
令和3年3月実施試験	令和3年3月6日（土）	午後1時予定

(2) 発表方法

秋田県立大学のホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期間

令和2年8月実施試験	令和2年9月8日（火）・9日（水）
令和3年3月実施試験	令和3年3月14日（日）・15日（月）

（受付時間：各日の午前9時～午後5時）

- ② 入学手続場所 秋田県立大学秋田キャンパス（21ページ参照）
- ③ 入学手続方法 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

- ア 金 額 秋田県内の者 282,000円
 上記以外の者 423,000円

（注）「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらに準ずる者として理事長が認めた者

（注2）本大学院生物資源科学研究科の前期課程を修了し、当該研究科の後期課程に入学する場合、入学料は免除となります。

- イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。
 なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学料は返還しません。

② 授 業 料

- ア 金 額 年額 535,800円

- イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情または不測の災害などのため授業料の納付が著しく困難な学生には授業料の減免制度があります。

② 奨学金

ア 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金についての詳細は、独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する特待生制度があります。

④ 特別早期修了制度について

既に一定の研究実績や能力を有する社会人を対象に、入学後に本研究科が定める修了要件を満たすことで、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年（3年未満）で修了し、課程博士の学位を取得できる制度です。

以下のすべてに該当する方が申請できます。

ア 社会人特別選抜（3月実施試験）の出願資格を有し、同選抜試験に出願予定であること。

イ 提出する博士学位論文に関連する原著論文が2件以上（いずれもトップオーサー）あること。

対象となる論文は、英語または日本語で作成されたものとし、査読付き専門誌に発表されたものに限る。受理済みの論文も可とする。

制度の適用を希望する方は、入学資格審査申請期間内に所定の様式により申請し、審査を受けてください。詳細については、お問い合わせください。

⑤ 長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、学生が職業を有していたり、育児・介護に従事したりしている等の個人の事情に応じて、在学年限（博士前期課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）を超えて計画的に教育課程を履修・修了することを認め、学位を取得できる制度です。

以下に該当する方が対象となります。

ア 職業を有している者

イ 育児・介護に従事している者

ウ その他長期履修が必要となる相当の理由がある者

修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付することとなります。申請方法については、各研究科入学予定者にご案内しています。

⑥ 後援会について

後援会加入学生を対象として、学校教育活動中及び通学中を補償する学生保険（「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」・「学研災付帯賠償責任保険」）に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座やインターンシップへの助成、様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は3年間で30,000円です。入会を希望する方は入学手続の際にお申し出ください。

Ⅲ 令和2年10月入学者選抜

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜

1 募集する専攻及び募集人員

専攻名	募集人員	令和2年8月実施試験
		一般選抜
		社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
生物資源科学専攻		若干名

2 出願資格

(1) 出願資格

【一般選抜】

以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

【社会人特別選抜】

2年以上の社会的経験を有する者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。なお、この選抜区分については、令和2年6月22日（月）～6月26日（金）の間に志望指導教員まで問い合わせてください（受付時間：午前9時～午後5時）。

【外国人・帰国子女特別選抜】

外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 修士の学位または専門職学位を有する者及び令和2年9月までに取得見込みの者
- ② 外国の大学の大学院において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和2年9月までに取得見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和2年9月までに取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和2年9月までに取得見込みの者
- ⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- ⑥ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- ⑦ その他の修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、令和2年10月1日までに24歳に達するもの

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑤～⑦のいずれかにより出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記ii)の各書類を後記「出願先」まで提出してください。(郵送の場合は、入学資格審査申請期間最終日の午後5時必着とします。持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。)

注意) 封筒には「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。

i) 入学資格審査申請期間

令和2年6月22日(月)～6月26日(金)

ii) 入学資格審査に必要な書類

書類名	摘要
入学資格審査申請書	様式は本学のホームページからダウンロードし、必要事項を記入してください。
履歴書	様式は任意です。
研究業績書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。
返送用封筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、84円切手を貼付してください。

- ② 入学資格審査の結果は、令和2年7月20日(月)までに本人あてに通知します。

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本大学院に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上及び修学上において特別の配慮を希望する場合は、以下の期限までに後記「出願先」へ事前相談を行うようにしてください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に連絡をとることもあります。また、希望する配慮を必ずしも実施できるとは限りません。

期限後に不慮の事故等により、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

事前相談期限	令和2年6月26日(月)
--------	--------------

4 出願期間及び出願方法等

(1) 出願期間

令和2年7月27日(月)～7月31日(金)

(2) 出願方法

- ① 本入試はインターネット出願となります。大学ホームページからインターネット出願ページに進み、出願手続を行ってください。
- ② 本入試は一部郵送もしくは持参による提出が必要な書類があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。
- ③ 指導教員等が変更になる場合がありますので、出願者は、出願前に必ず志望指導教員と連絡をとるようにしてください。なお、外国人・帰国子女特別選抜の出願者の連絡記録は、提出書類の一つとなります。

(3) 入学検定料

30,000円 ただし、本学院生物資源科学研究科の前期課程を修了し、当該研究科の後期課程に入学を志願する場合は、入学検定料は免除となります。

(4) 出 願 先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438
秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)
TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

(5) 提出の必要がある書類

各選抜区分欄に、○印を付した書類を原則としてすべて提出してください。△印を付した書類は該当者のみ提出してください。「-」を付した書類は提出不要です。

番号	書 類 名	摘 要	選抜区分		
			一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して送付してください。	○	○	○
2	検定料振込証明書	インターネット出願ページから振込用紙を印刷し、金融機関で納付した際に受領する検定料振込証明書を入学志願票に貼付してください。	○	○	○
3	志望理由書	800字程度で志望理由を記入してください。	○	○	○
4	業績レポート	一般選抜、または外国人・帰国子女特別選抜に出願する者で出願資格⑤～⑦のいずれかに該当するもの、または社会人特別選抜に出願する者は本大学院所定の用紙に業績を記入してください。	△	○	△
5	推薦書	推薦特別選抜に出願する者は本大学院の志望指導教員または所属大学の指導教員が、社会人特別選抜または外国人・帰国子女特別選抜に出願する者は出身（在籍）機関等の教員、所属長、本大学院の志望指導教員等が作成のうえ厳封したものを提出してください。	-	○	○
6	研究計画書	研究計画を記入してください。	-	○	-
7	修了（見込）証明書または学位授与（申請受理）証明書	① 出身大学院の学長等、または大学評価・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ② 大学評価・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が交付する学位授与申請受理証明書を提出してください。	○	○	○

番号	書類名	摘要	選抜区分		
			一般選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜
8	大学院の成績証明書	出身大学院の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。出願資格⑦に該当する場合は出身大学の学長等が発行する成績証明書を厳封して提出してください。	○	○	○
9	修士論文またはこれまでの研究の要旨	修士論文の要旨または研究の要旨（2,000字程度）を提出してください。	○	○	○
10	住民票の写しまたはパスポートの写し	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し（出願前3か月以内に発行したもの）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。	△	△	△
11	受験承諾書	企業等に在籍のまま本大学院に入学を希望する者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします）。	△	△	△
12	志望指導教員との連絡記録	志望指導教員と連絡をとった際の連絡記録（手紙、Eメール等の写し）を提出してください。	－	－	○
13	安全保障輸出管理に関する誓約書	外国籍の方、または、日本国籍を有するが非居住者に該当する方は、本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認のうえ、必要事項を記入・押印、またはサインをし、提出してください。 URL： https://www.akita-pu.ac.jp/nyushi/joho/joho-daigakuin/	△	△	△
14	その他本学が指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。	△	△	△

【注】各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願先」までお問い合わせください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、23ページ以降の「秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内」を参照の上、必ず志望指導教員にお問い合わせください。問い合わせの際は、前記「出願先」に連絡してください。
- ② 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願書類は、インターネット出願ページの注意事項を参照してください。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記「出願先」まで連絡してください。
- ⑤ 受験票は、出願書類受理後にインターネット出願ページからダウンロードできるようになりますので、印刷してください。
- ⑥ 外国から本大学院受験のために来日する者は、日本国への入国に必要な書類の発給に時間を要する場合がありますので、発給元に所要時間、必要書類を確認するなど受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑦ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑧ 一度受理した出願書類は返還しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
(ア) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	30,000円
(イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	30,000円
(ウ) 入学検定料が免除となる者が、誤って振り込んだ場合	30,000円

※実際の返還額は、振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、払込済みの検定料振込証明書を同封して次の送付先へ請求してください。

送 付 先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和3年2月26日（金）必着

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

(1) 試験期日

令和2年8月21日（金）

(2) 選抜方法

各選抜区分毎の選抜方法は次のとおりです。

※面接の中で研究業績に関するプレゼンテーション（20分程度）を課します。

〔令和2年8月実施試験・令和3年3月実施試験〕

選抜区分	選抜方法
一般選抜	書類審査、面接を総合して判定します。
社会人特別選抜	
外国人・帰国子女特別選抜	

(3) 試験時間割

選抜区分	時間
一般選抜	面接 午前10時～
社会人特別選抜	
外国人・帰国子女特別選抜	

(4) 試験会場

秋田県立大学秋田キャンパス（21ページ参照）

(5) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、試験開始30分前までに指定された面接控室に入室してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑥ 本学と大学・学部間交流協定を結んでいる大学から推薦を受けて外国人・帰国子女特別選抜の区分で受験する者について、本学が必要と認める場合には、試験期日及び試験会場を変更する場合があります。
- ⑦ その他必要な事項が生じた場合には、別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表期日

令和2年8月27日（木） 午後1時予定

(2) 発表方法

秋田県立大学のホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期間 令和2年9月8日（火）・9日（水）

（受付時間：午前9時～午後5時）

② 入学手続場所 秋田県立大学秋田キャンパス（21ページ参照）

③ 入学手続方法 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

ア 金 額 秋田県内の者 282,000円

上記以外の者 423,000円

（注）「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者

二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者

三 前2号に掲げる者のほか、これらに準ずる者として理事長が認めた者

（注2）本大学院生物資源科学研究科の前期課程を修了し、当該研究科の後期課程に入学する場合、入学料は免除となります。

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。

なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学料は返還しません。

② 授 業 料

ア 金 額 年額 535,800円

イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情または不測の災害などのため授業料の納付が著しく困難な学生には授業料の減免制度があります。

② 奨学金

ア 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金についての詳細は、独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する特待生制度があります。

④ 長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、学生が職業を有していたり、育児・介護に従事したりしている等の個人の事情に応じて、在学年限（博士前期課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）を超えて計画的に教育課程を履修・修了することを認め、学位を取得できる制度です。

以下に該当する方が対象となります。

ア 職業を有している者

イ 育児・介護に従事している者

ウ その他長期履修が必要となる相当の理由がある者

修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付することとなります。申請方法については、各研究科入学予定者にご案内しています。

⑤ 後援会について

後援会加入学生を対象として、学校教育活動中及び通学中を補償する学生保険（「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」・「学研災付帯賠償責任保険」）に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座やインターンシップへの助成、様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は3年間で30,000円です。入会を希望する方は入学手続の際にお申し出ください。

IV 共通事項

1 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、本人に限って、次により口頭で請求し、その場で閲覧することができます。ただし、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、合格者が10名に満たない専攻については不合格者のみの開示となるので注意してください。

① 請求の方法

本人が、開示場所（秋田県立大学アドミッションチーム（秋田キャンパス））に出向いて請求してください。郵送による請求はできません。

また、請求者が本人であることを確認するため、必ず受験票を持参してください。

② 開示する情報

得点

③ 開示する期間

合格発表の日から1か月間（土・日・祝日を除く）

④ 入学試験成績の開示についての問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

2 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

(1) 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ① 入学者選抜（出願手続、選抜実施）
- ② 合格者発表
- ③ 入学手続
- ④ 次年度以降の学生募集

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

(3) 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ、次の業務を行うために利用します。

- ① 教務関係（学籍、修学指導等）
- ② 学生支援関係（奨学金申請等）
- ③ 授業料徴収

(4) 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

キャンパス案内図

秋田キャンパス案内図

〒010-0195

秋田県秋田市下新城の中野字街道端西241-438

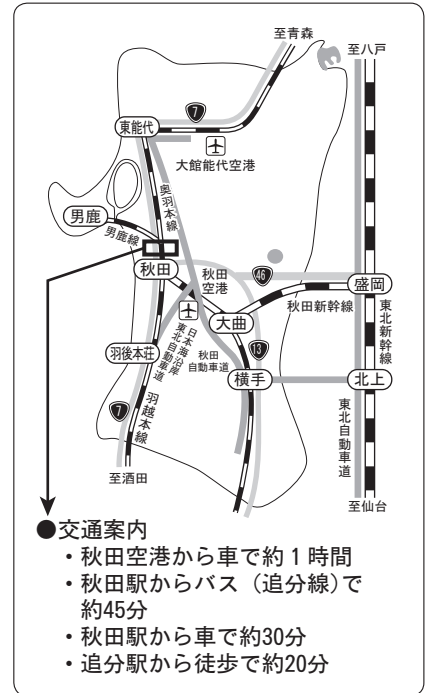
TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

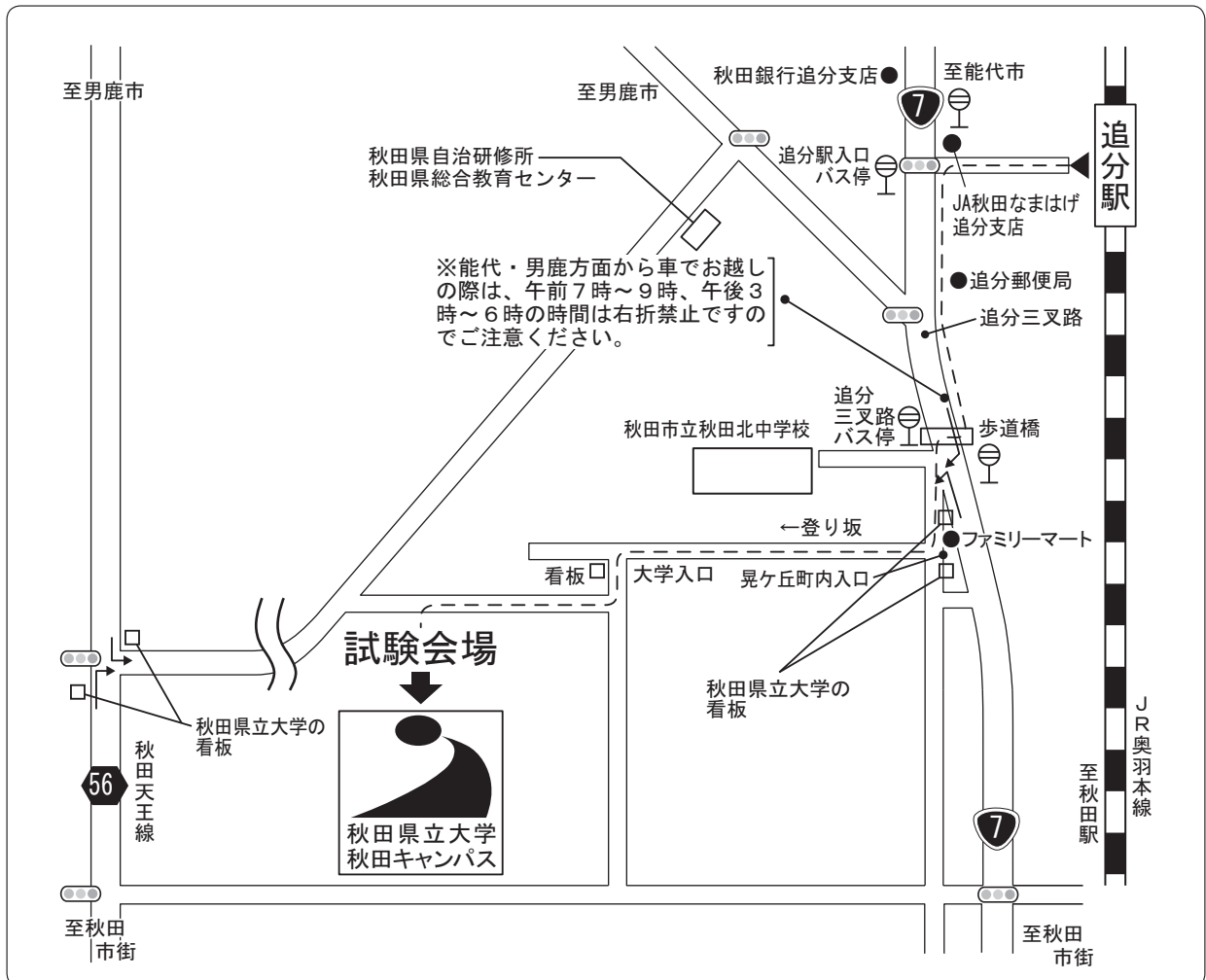
秋田キャンパスまでの交通

鉄道利用：JR奥羽本線・男鹿線「追分駅」にて下車後、
徒歩約20分

バス利用：JR奥羽本線「秋田駅」から五城目線、追分線
を利用して、バス停「追分三叉路」にて下車後、
徒歩約10分



拡大図





大潟キャンパス案内図 〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南2-2
 TEL 0185-45-2026 FAX 0185-45-2377
 秋田空港から車で約1時間30分
 秋田駅から八郎潟駅まで JR で約30分
 八郎潟駅から車で約20分



木材高度加工研究所案内図 〒016-0876 秋田県能代市字海詠坂11-1
 TEL 0185-52-6900 FAX 0185-52-6924
 秋田空港から車で約1時間30分
 大館能代空港から車で約1時間
 秋田駅から能代駅まで JR で約50分
 能代駅から車で約10分

秋田県立大学大学院生物資源科学研究科の案内

後期課程 生物資源科学専攻

1 生物資源科学研究科の概要

生物資源科学研究科 生物資源科学専攻は前期課程 5 講座と後期課程 5 講座を置きます。各講座に属する研究グループは次のとおりです。

1 生物資源科学専攻

① 応用生物科学講座

微生物機能グループ、分子細胞機能グループ、植物機能科学グループ、食品醸造グループ

② 生物生産科学講座

植物生産基礎グループ、植物遺伝・育種グループ、植物生理グループ、分子シグナル制御グループ、植物資源創成システムグループ

③ 生物環境科学講座

陸域生物圏グループ、環境管理修復グループ、地域計画グループ
基礎生命科学グループ

④ アグリビジネス学講座

アグリテクノロジーグループ、ルーラルエンジニアリンググループ（博士前期課程のみ）、アグリビジネスマネジメントグループ（博士前期課程のみ）、フィールド農学グループ

⑤ 木質科学講座

木質科学グループ

2 指導教員と研究テーマ

研究グループに所属する指導教員の研究テーマは次ページ以降の一覧のとおりです。

各研究テーマ等の詳細については、秋田県立大学ホームページの「地域連携・研究推進センター」内の「研究者総覧」に掲載しておりますので、参考にしてください。

（秋田県立大学ホームページアドレス <https://www.akita-pu.ac.jp/>）

授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

生物資源科学専攻

講座	研究グループ	氏名	研究テーマ
応用生物科学講座	微生物機能	教授 福島 淳	土壌や動物腸内等の環境に生息する微生物のゲノム解読およびメタゲノム手法を含む分子生物学的及び生化学的方法による機能解析とその応用に関する研究
		准教授 春日 和	放線菌におけるセルロース系バイオマス分解系の解明、およびセルロース系バイオマスを有効利用して抗生物質生産に応用する研究 微生物におけるD-アミノ酸の機能解析およびその応用研究
		准教授 村口 元	担子菌のモデル生物であるウシグソヒトヨタケやシイタケを実験材料とし、担子菌の菌糸成長・子実体形成・代謝に関する分子機構の解明とその応用を目指した研究
	分子細胞機能	教授 村田 純	癌細胞の運動調節機構、特に運動抑制の細胞内情報伝達機構に関する分子生物学的研究と、細胞運動抑制に重要な分子の調節による癌転移抑制に関する研究
		教授 穂坂 正博	動物の神経伝達・ホルモン分泌といった情報伝達機能を分子生物学的・細胞生物学的手法で解析する研究
		教授 小林 正之	哺乳動物の発生学：マウス初期胚から樹立できる幹細胞群（ES細胞など）をもちいた、胎仔・胎盤・iPS細胞の形成を担う新たな分子基盤に関する研究
	植物機能科学	教授 水野 幸一	植物由来の生理活性化合物の生合成機構に関する酵素化学・遺伝子工学的研究
		准教授 王 敬銘	植物ホルモン生合成機能を調節する生理活性物質の合成と作用機構解析研究
		准教授 常盤野哲生	植物由来の生理活性化合物の有機合成研究および分子の構造解析
		准教授 尾崎 紀昭	植物におけるバイオミネラル化の分子機構解明 地域の未利用バイオマスを活用した機能性材料の開発
		准教授 岩崎 郁子*	植物オリジナルの浸透圧調節のしくみに関する研究 地衣類共生シアノバクテリアの光合成
	食品醸造	教授 陳 介余	食品の品質特性の科学的解明および貯蔵に伴う品質低下の要因解明 食品の安全・安心および品質向上をめざした食品素材の迅速品質計測技術の開発
教授 中沢 伸重		白神こだま酵母の長寿メカニズムの解析 白神こだま酵母より分離した冷凍耐性株の機能解析	
准教授 張 菡		食品の美味しさに寄与する成分因子の解明および高品質食品の開発に関する研究 穀物類・油脂類の成分組成特性の解析および品質評価指標の構築	
准教授 石川 匡子		食品の嗜好性ならびに加工適正に与える食塩の影響に関する研究 天然素材との相乗効果を利用した塩味を強く感じさせる新規調味塩の開発	

※は令和4年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏 名	研 究 テ ー マ
生物 生 産 科 学 講 座	植物生産基礎	教 授 渡邊 肇	直播栽培を基軸としたイネの省力・低コスト、環境保全型栽培 作物の収量と品質向上に関する生理・生態的研究 イネの環境応答に関するメカニズムの解明と品種育成・栽培技術への応用
		教 授 小川 敦史	浸透圧ストレスに対する作物根系機能発現に関する形態学的、生理学的、 分子生物学的研究 環境制御を利用した高付加価値・機能性野菜の栽培方法の確立
		教 授 藤 晋一	農作物に発生する菌類・ウイルス病の実用的な診断法の開発 分子マーカーを利用した発生生態の解明 化学合成農薬に依存しない防除法の開発
		准教授 頼 泰樹	有害元素を吸収しない水稻の開発と原因遺伝子解析 イオンビーム照射によるダイズの有害元素低吸収系統の作出と遺伝子解析 有機質肥料施用による土壌へのアミノ酸供給と作物による直接吸収
	植物遺伝・育種	教 授 赤木 宏守	イネの低温適応および重金属蓄積の分子機構の解明 DNA マーカー選抜とピラミディングによるイネ育種法の開発
	植 物 生 理	教 授 鈴木 英治	原始的な光合成微生物（シアノバクテリア）から陸上植物への、貯蔵多 糖生産代謝能力の進化機構 光合成微生物のバイオマスの利用に関する技術開発
		教 授 藤田 直子	澱粉の構造や性質が変化した変異体米の作出およびその実用化 澱粉生合成メカニズムの解明
	分子シグナル制御	教 授 田母神 繁	生物活性物質の単離・合成、および、活性物質の作用発現メカニズムに 関する有機化学的研究
		准教授 阿部 誠	植物を食べる昆虫と植物との相互関係の化学的手法による解明 昆虫類を用いた生態毒性試験法の開発
	植物資源創成 システム	准教授 小峰 正史	栽培施設での環境調節・制御による生物生産の効率化研究 採算性のある植物工場実現に向けた、システムならびに新規栽培作物の 開発研究
		准教授 原 光二郎	植物・地衣類由来の有用物質・タンパク質の生産に関する遺伝子工学的研究
	生物 環 境 科 学 講 座	陸域生物圏	教 授 蒔田 明史 ^{※※}
教 授 星崎 和彦			ビッグデータを利用した森林の動態や物質循環の解析 樹木の成長と開花結実における気候変動の影響抽出 統計モデルを利用した種子散布パターンの解析
教 授 佐藤 孝			マメ科・根粒菌共生素素固定を有効利用した低投入・低環境負荷農業の確立
准教授 井上 誠			豪雨などの気象災害が農作物の収量に及ぼす影響に関する研究 天気図を用いた干ばつや冷夏の発生プロセスの解明 地上・航空機・人工衛星による温室効果ガスの観測と解析
准教授 木口 倫			環境・生物・農産物中の微量化学物質の動態研究 微量化学物質の新しい迅速・精密分析法および観測法の開発
環境管理修復		教 授 高橋 正 ^{※※}	森林地帯の土壌生成と土壌劣化モニタリング 未利用資源を利用した環境修復
		教 授 宮田 直幸	生物利用による下廃水の水質浄化、資源回収技術の開発 生態工学的手法による八郎湖環境の修復保全に関する研究
		准教授 石川 祐一	地域の生物資源を利用した環境修復技術の開発 重金属汚染土壌・塩性土壌など問題土壌の環境修復に関する研究
		准教授 早川 敦	流域スケールの生元素の生物地球化学循環とその最適化に関する研究 生態系の水質浄化機能とその広域評価・修復に関する研究
地 域 計 画		教 授 長濱健一郎	地域資源の利活用と主体に関する研究 農業生産における環境評価に関する研究
		教 授 谷口 吉光	コモンスとしての八郎湖の再生に関する研究 持続可能な社会を構築するための地産地消に関する研究
基礎生命科学		准教授 小西 智一	トランスクリプトミクスとゲノミクスのバイオインフォマティクス研究 機能性食品の作用機作 リポタンパク質の測定方法 パラメトリック統計学の応用

※※は令和5年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

講座	研究グループ	氏名	研究テーマ
アグリビジネス講座	アグリテクノロジー	教授 吉田 康德	園芸作物の生理生態的特性を活用した生産システムの開発に関する研究 植物成長調整物質を活用した生産技術の開発 園芸作物の組織形態学的研究
		准教授 横尾 正樹	受精卵移植を活用した効率的な家畜生産技術の構築と実用化のための研究開発 受精卵体外培養技術に関する農工融合研究
フィールド農学		准教授 保田謙太郎	水稻の環境保全型栽培技術の研究 雑草の種生態および種内地理的変異の解明
木質科学講座	木質科学	教授 中村 昇 ^{***}	プレカット加工による在来軸組工法用大型パネルの開発 価格競争力のある燃え止まり型木質耐火部材の開発
		教授 山内 繁	機能性木質炭化物の合成とキャラクター化 持続可能エネルギーとしての木質バイオマス利用 木材成分と金属元素の化学的相互作用に関する研究
		教授 高田 克彦	スギ等の森林資源の遺伝解析 樹木の成長・材質の変動と環境応答 森林資源の効率的な利活用に向けた管理手法の開発
		教授 栗本 康司	化学加工法を用いた木質資源の有効活用 出土木材など木質文化財の保存処理
		教授 山内 秀文	木材の本来性質を生かした機能性木質材料開発 機能性木材接着技術の開発 木質材料製造技術の高度化・高効率化
		准教授 渡辺 千明	民家の工法と生活文化 地域資源を活用した安心・安全のまちづくり
		准教授 岡崎 泰男	木造住宅の耐震性能向上 木質構造接合部・木質複合材料の開発 実大材破壊機構解明
		准教授 澁谷 栄	バイオマスの利用技術 森林系及び木質廃棄物の有効活用
		准教授 川井 安生	木材中の水分動態の解明と産業応用 新エネルギーを利用した木材乾燥システムの開発 木材・木質材料と音響
		准教授 足立 幸司	可撓化やバネ化など、木質系新素材の創製 木材・木質材料の材料特性を活かした家具・内装材の開発
准教授 野田 龍	非住宅木製構造物の強度・耐久性の評価 クマ・イノシシ等の野生動物への忌避工法の開発 地域材利用による温暖化緩和効果および経済波及効果の評価		

※※は令和5年3月退職を示す。

注1) 出願にあたっては志願研究グループの担当教員に問い合わせてください。

注2) 授業科目は原則として秋田キャンパスで開講されます。論文指導は指導教員の所属キャンパスで行います。

出願、受験、その他の問い合わせ先

生物資源科学部研究科

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>